

I. 2017年度事業報告（2017年3月1日から2018年2月28日まで）

【公益目的事業】

(1) 会誌「化学と生物」, 論文誌等の刊行を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 学会誌「化学と生物」の発行状況

会誌送付の状況

(2018年2月末現在)

	化学と生物 (第56巻, 第2号)		Biosci. Biotechnol. Biochem (第82巻, 第2号)	
	国内	国外	国内	国外
名誉会員	6	1	10	1
有功会員	70	0	10	0
シニア会員	229	0	11	0
一般会員	345	1	195	0
教育会員	80	0	2	0
学生会員	67	0	5	0
国外会員	0	9	0	9
賛助会員	97	0	96	0
団体会員	270	0	268	0
寄贈・交換	17	8	8	10
追加送本 ^{※1}	6	0	4	0
販売 ^{※2}	650	0	0	46
広告用	20	0	0	0
事務局保存用	30	0	14	0
計	1,887	19	623	66
総計	1,906		689	
印刷部数	2,150		730	
残部	244		41	

※1 賛助会員に追加で送本しているもの（有料）

※2 和文誌を刊行している国際文献社、英文誌を刊行している Taylor & Francis 社がそれぞれ販売しているもの
化学と生物は冊子体送本希望者にのみ配本。（一部有料）

「化学と生物」掲載頁数（下段は編数）

	第51巻 (2013年)	第52巻 (2014年)	第53巻 (2015年)	第54巻 (2016年)	第55巻 (2017年)
解説	348 46	323 44	351 48	358 48	412 57
講座・セミナー室	184 25	177 26	137 21	197 30	103 15
今日の話	171 55	169 62	184 66	162 60	186 69
バイオサイエンススコープ	19 4	0 0	55 11	44 9	47 9
生物コーナー・化学の窓	25 5	63 12	19 4	10 2	0 0
トップランナーに聞く	0 0	0 0	11 2	6 1	5 1
海外だより・学界の動き	0 0	13 3	0 0	11 2	0 0
プロダクトイノベーション・ テクノロジーイノベーション	6 1	26 5	62 11	33 7	38 6
「化学と生物」文書館	40 6	0 0	0 0	0 0	0 0
農芸化学 @High School	25 9	28 10	34 12	9 3	24 8
特集号				67 17	
その他	30	30	31	35	26
印刷頁数（市販）	848	846	884	932	844
会告等	110	90	0	0	0
印刷頁数（会員配布）	958	936	884	932	844

「化学と生物」執筆者への謝礼として「化学と生物・クリアファイル」を作成し、56巻1号（2017年12月発行）分より配布している。

2) 学会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の発行状況

英文誌投稿状況・掲載状況

月	2017年														2018年		
	前年末	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	1	2	計
手持数	179	170	153	155	151	131	134	135	134	137	160	163	162		181	171	
受理数		52	47	59	69	51	61	59	54	68	56	59	59	694	73	50	123
掲載数		28	30	27	27	28	29	30	26	25		25	24	299	26	22	48
返却数		33	34	30	46	43	29	28	29	40	33	31	36	412	28	38	66
issue		81-02	81-03	81-04	81-05	81-06	81-07	81-08	81-09	81-10		81-11	81-12		82-01	82-02	

英文誌掲載の状況

	受理報文数		掲載報文数		返却報文数		年末手持 報文数	印刷頁数 (投稿論文)	印刷部数	IF
		うち 海外		うち 海外		うち 海外				
2013年	935	480	458	102	487	367	229	2520 (Vol. 77)	1500 (Vol. 77, No. 12)	1.026
2014年	820	469	314	82	512	396	223	2134 (Vol. 78)	1045 (Vol. 78, No. 12)	1.063
2015年	783	419	318	74	461	351	227	2096 (Vol. 79)	960 (Vol. 79, No. 12)	1.176
2016年	734	392	336	80	447	332	178	2496 (Vol. 80)	895 (Vol. 80, No. 12)	1.295
2017年	694	360	299	58	412	309	162	2410 (Vol. 81)	810 (Vol. 81, No. 12)	
増減	-40	-32	-37	-22	-35	-23	-16	-86	-85	

* 増減は2016年と2017年の比較

81巻4号に「食品工学」の特集号を掲載し、一定期間Free Accessとして無料公開した。

- 3) 2017年度大会プログラム集は、平成29年2月25日に11,000部を発行した。
- 4) 2017年度大会講演要旨集は平成29年3月5日にPDF版を発行した。

(2) 学術大会, 講演会等の開催を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 2017年度学会賞等受賞者講演の開催

2017年度日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞の受賞者講演は2017年3月17日にウェスティン都ホテル京都(京都府京都市)において, 2017年度農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の受賞者講演は3月18日に京都女子大学において開催した。

2) 2017年度大会の開催

2017年度大会は2017年3月18日から20日までの3日間, 京都女子大学(京都府京都市)において以下の内容で開催され, 大会参加者数は4,654名であった。

- ・口頭発表による一般講演(1,906題)
- ・シンポジウム(15テーマ・88題)の発表と討論
- ・ランチョンセミナー(12社・12題)
- ・JABEEランチョンシンポジウム「農芸化学における技術者教育, 技術士養成」
- ・男女共同参画ランチョンシンポジウム「仕事をする女性研究者・技術者をとりまく“あれこれ”」
- ・Student Committee ランチョンセミナー
- ・ミキサー
- ・展示会(93社・117小間)
- ・託児ルーム

大会に先立ち, 2017年3月8日に東京(東京大学)において報道各社を招き記者会見を開催した。新聞, 出版各社13社18名に学会及び2017年度大会の広報資料を配布し, 学会長から学会の紹介, 大会実行委員長から大会の全体紹介, さらに広報担当理事からトピックス30演題の紹介, 解説を行った。

3) ジュニア農芸化学会(高校生による研究発表会)の開催

ジュニア農芸化学会は2017年度大会期間中の2017年3月18日に京都女子大学(京都府京都市)においてポスター発表(70題・70校)が開催された。

4) 第24回農芸化学Frontiersシンポジウムの開催

第24回農芸化学Frontiersシンポジウムは2017年3月20日~21日にKKR京都くに荘(京都府京都市)において, 講演会・シンポジウムが開催され, 72名の参加者があった。また, エクスカーションとして武田薬品工業(株)京都薬用植物園, 曼殊院門跡, 菌塚を見学した。

5) 第43回農芸化学「化学と生物」シンポジウムの開催

第43回農芸化学「化学と生物」シンポジウムは2017年3月17日にウェスティン都ホテル京都(京都府京都市)において「微生物に学び社会に活かす農芸化学の神髄」(演者: 清水昌氏, 大村智氏)というタイトルで開催され, 約750名の参加者があった。

6) サイエンスカフェの開催(全13回)

*¹三省堂書店と共催, *²日本学術会議農芸化学分科会と共催

2017年度サイエンスカフェは以下のとおり全13回開催した。

1[第100回](香川)「炭水化物と希少糖のサイエンス」2017年3月26日, カフェアルカディア 講師: 新谷知也氏, コーディネーター: 佐藤正資氏, 参加者数12名

2[第101回](札幌)^{*1}「農産基地に立脚し産官学の架け橋となる とち財団の取り組み」2017年8月27日, 三省堂書店札幌店BOOKS&CAFE(UCC) 講師: 長澤秀行氏, コーディネーター: 福島道広氏, 橋本誠氏, 参加者数31名

3[第102回](名古屋)「健康のための栄養と運動」2017年9月28日, 名古屋市科学館 Nagoya Key's CAFE 講師: 下村吉治氏, コーディネーター: 小池田聡氏, 参加者数56名

4[第103回](仙台)「お酒をつくる麹菌と酵母のお話」, 「地域ブランドビール開発秘話」2017年9月30日, 東北大学青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ 講師: 五味勝也氏, 谷川満氏, コーディネーター: 藤井智幸氏, 参加者数41名

5[第104回](松山)^{*2}「みかんを食べて健康になろう〜柑橘成分の健康効果〜」2017年10月13日, 松山アーバンデザインセンター 講師: 奥山聡氏, 菅原卓也氏, コーディネーター: 寺谷亮司氏, 菅原卓也氏, 参加者数20名

6[第105回](福井)「食品にかかわる微生物たち」2017年11月18日, LES PLAISIRS café + 福井駅前本店2F/カフェスペース 講師: 丸山千登勢氏, コーディネーター: 濱野吉十氏, 参加者数23名

7[第106回](札幌)^{*1}「甘くない糖鎖の研究〜グルコサミン, コンドロイチン, 大腸菌O157感染, 血液型などと“糖”との関わり」2017年11月25日, 三省堂書店札幌店BOOKS&CAFE(UCC) 講師: 清水弘樹氏, コーディネーター: 村井勇太氏, 橋本誠氏, 参加者数28名

8[第107回](福島)「バイオを知ってバイオを楽しむ: 発酵パワーのバイオサイエンスとバイオ教育」2017年12月2日, コラッセふくしま・企画展示室3階 講師: 本間誠氏, 山本剛氏, 菅野俊幸氏, コーディネーター: 杉森大助氏, 参加者数42名

9[第108回](富山)「私たちの生活を支えるバイオテクノロジー」2018年2月4日, 富山県立大学 講師: 日比慎氏, 奥直也氏, 戸田弘氏, コーディネーター: 生城真一氏, 参加者数17名

10[第109回](東京)^{*1}^{*2}「和食の味を彩る麹菌, その知られざる姿と未来」2018年2月10日, 三省堂書店神保町本店2F UCC カフェコンフォート 講師: 丸山潤一氏, コーディネーター: 西川拓氏, 参加者数25名

11[第110回](福岡)「カスピ海乳酸菌〜ヨーグルトの粘りの秘密・健康効果〜」2018年2月22日, 福岡市科学館4F交流室1 講師: 土居克実氏, 藤五要氏, コーディネーター: 廣政恭明氏, 参加者数23名

12[第111回] (京都) *2 「エッグサイティング！ 卵の可能性」2018年2月24日, 京都ペレット町家ヒノコ 講師: 八田 一氏, コーディネーター: 木岡紀幸氏, 参加者数16名

13[第112回] (和歌山) 「酒, 発酵, 微生物, そして健康」2018年3月3日, 吉村秀雄商店・酒のねごろっく 講師: 芦田 久氏, コーディネーター: 東 慶直氏, 田口善智氏, 参加人数: 8名

7) 産学官学術交流フォーラムの開催

産学官学術交流フォーラムは, 2017年3月19日に京都女子大学(京都府京都市)において以下の内容で開催され, 338名の参加者があった.

- ・第14回農芸化学研究企画賞研究企画発表会
- ・第13回農芸化学研究企画賞中間報告会
- ・第12回農芸化学研究企画賞最終報告会
- ・シンポジウム「トップランナーが語る研究開発ビジョン～未来価値の創造～」
- ・技術交流会・大会トピックス演題ポスターセッション

8) 産学官若手交流会(さんわか)セミナーの開催

産学官若手交流会(さんわか)セミナーは以下の通り全2回開催した.

1 [第29回] AI(人工知能)でどう変わる? バイオテクノロジーの未来(2017年12月13日, 東京大学理学部小柴ホール, 参加者約80名)

2 [第30回] バイオテクノロジーから発想する健康&スポーツの新潮流(2018年1月19日, 京都大学理学部セミナーハウス, 参加者約50名)

9) 各支部の講演会等の開催

2017年度の各支部の講演会等は下記のとおり開催された.

北海道支部(2件)

- ・2017年度第1回支部講演会およびシンポジウム「醸造用酵母研究の最前線」(帯広, 2017年7月22日)
- ・2017年度北海道支部第2回支部講演会(北大, 2017年12月2日～3日)

東北支部(4件)

- ・支部シンポジウム「多様な広がりで魅せる微生物研究」(弘前大, 2017年6月24日)
- ・2017年度支部「若手の会」(秋田, 2017年11月3日)
- ・2017年度支部大会(秋田県立大, 2017年11月4日)
- ・2017年度市民フォーラム「一生物の機能を化学する」(山形大, 2017年11月5日)

関東支部(7件)

- ・2017年度第1回支部例会 受賞講演(東大, 2017年7月1日)
- ・バイオサイエンス・スクール2017(日大, 2017年8月7日)
- ・2017年度支部大会(筑波大, 2017年9月2日)
- ・2017年度第2回支部例会 トピックス賞受賞講演(東

大, 2017年10月21日)

- ・2017年度第1回企業イベント～企業研究員からのメッセージ～(東大, 2017年11月25日)
 - ・2017年度第3回支部例会 受賞講演・シンポジウム「微生物・植物の機能とメカニズムに迫る—細胞・物質・ゲノム・遺伝子」(東大, 2017年12月16日)
 - ・2017年度第2回企業イベント～企業研究員からのメッセージ～(東京家政大, 2018年2月17日)
- 中部支部(3件)

- ・第179回例会 受賞講演ならびにミニシンポジウム「化学と生物の接点～ケミカルバイオロジーの最前線」(信州大, 2017年6月24日)
- ・第180回例会 ミニシンポジウム「植物の発生可塑性」および一般ポスター発表, 企業展(名古屋大, 2017年10月7日)
- ・第181回例会 若手シンポジウム「若手研究者が拓く, 健康で暮らすためのバイオの世界」(金沢, 2017年12月9日)

関西支部(8件)

- ・支部例会(第499回講演会)(京府大, 2017年6月3日)
- ・関西・中四国・西日本支部 2017年度合同大阪大会(第500回記念講演会)(阪府大, 2017年9月21日～22日)
- ・関西支部講演会 第500回記念市民フォーラム(大阪, 2017年9月23日)
- ・第3回 産学官連携シンポジウム2017(江崎グリコ(株), 2017年10月17日)
- ・JSBBA KANSAI 4th Student Forum(神戸大, 2017年11月4日)
- ・支部例会(第501回講演会)(神戸大, 2017年12月2日)
- ・賛助企業-学生交流企画「もっと知ろう賛助企業」(京大, 2018年2月3日)
- ・支部例会(第502回講演会)(京大, 2018年2月3日)

中四国支部(7件)

- ・第25回若手研究者シンポジウム・「農芸化学の未来開拓セミナー(第9回)」(岡山大, 2017年5月19日～20日)
- ・第48回講演会(例会)(徳島大, 2017年6月17日)
- ・第32回市民フォーラム「バイオテクノロジーってなあに?『バイオロジー(生物学)』と『テクノロジー(技術)』の合成語です。」(広島, 2017年7月22日, 8月5日, 9月2日, 9月9日)
- ・第33回市民フォーラム「微生物が生み出す物質から健康長寿を考えよう!」(松江, 2017年9月9日)
- ・関西・中四国・西日本支部 2017年度合同大阪大会(第49回講演会)(阪府大, 2017年9月21日～22日)
- ・第26回若手研究者シンポジウム「農芸化学の新潮流を探る・特別企画「賛助企業からの農芸化学会への提言」」(酒類総合研究所, 2017年10月6日～7日)
- ・第50回記念講演会(例会)(広島大, 2018年1月27日)

西日本支部(4件)

- ・第318回支部例会（日田，2017年6月2日）
 - ・第54回化学関連支部合同九州大会（第319回支部例会）（北九州，2017年7月1日）
 - ・関西・中四国・西日本支部 2017年度合同大阪大会（第320回講演会）（阪府大，2017年9月21日～22日）
 - ・第321回支部例会，支部奨励賞受賞講演，特別講演会（九大，2018年1月20日）
- 10) 創立100周年記念事業シリーズシンポジウムの開催
 創立100周年記念事業シリーズシンポジウムとして，Visionary 農芸化学100 シンポジウムを下記のとおり3回開催した。
- 1 [Visionary 農芸化学100特別シンポジウム] (2017年3月17日，ウェスティン都ホテル京都，演者：清田洋正氏，高谷直樹氏，米谷 俊氏，清水(肖)金忠氏，参加者約750名)
- 2 [Group C: 天然物化学研究領域 第1回シンポジウム] 生命現象に介在する天然物の化学 (2017年9月9日，名古屋大学東山キャンパス坂田・平田ホール，演者：吉田久美氏，河岸洋和氏，石井保之氏，寺西克倫氏，山下まり氏，山口信次郎氏，荒木 崇氏，尾崎克久氏，参加者165名)
- 3 [Group B: 微生物・バイオマス利用研究領域 第1回シンポジウム] 持続可能社会を支える微生物の力 (2017年12月10日，徳島大学常三島キャンパスけやきホール，演者：吉田健一氏，高田悟郎氏，高谷直樹氏，芦内 誠氏，櫻谷英治氏，野村暢彦氏，秦 洋二氏，高木博史氏，参加者169名)
- (3) 表彰を通じて農芸化学の普及啓発・発展を目的とする事業**
- 1) 2017年度日本農芸化学会賞，日本農芸化学会功績賞，農芸化学技術賞，農芸化学奨励賞，農芸化学女性研究者賞，農芸化学若手女性研究者賞，農芸化学女性企業研究者賞を下記のとおり表彰した。
- 【日本農芸化学会賞】**(2件，50音順)
 浅見忠男（東京大学大学院農学生命科学研究科）
 「植物ホルモン機能の化学的制御とその応用に関する研究」
 内海龍太郎（近畿大学農学部）
 「細菌情報伝達ネットワークの分子機構と情報伝達阻害型薬剤の開発」
- 【日本農芸化学会功績賞】**(2件，50音順)
 木村 誠（九州大学大学院農学研究院）
 「核酸結合タンパク質の構造機能相関と機能開発」
 吉川博文（東京農業大学応用生物科学部）
 「微生物ゲノムの解読と機能解析」
- 【農芸化学技術賞】**(4件，50音順)
 味の素株式会社（賛助会員）
 「新規酵素による汎用的ペプチド新製法の開発とアスパルテームの工業生産」
- 塩野貴史・河合淳一郎・山本研一朗・四元祐子（キリン株式会社・キリンビバレッジ株式会社）
 「天然吸着剤による茶飲料からのカフェイン除去技術の開発」
- サントリーホールディングス株式会社（賛助会員）
 「ケルセチン配糖体配合飲料 特定保健用食品「伊右衛門 特茶」の開発」
- 日本食品化工株式会社（賛助会員）
 「活性炭触媒を利用した脱水縮合技術の開発とそれを用いた難消化性グルカンの生産」
- 【農芸化学奨励賞】**(10件，50音順)
 安藤晃規（京都大学大学院農学研究科）
 「油糧糸状菌の分子育種基盤の構築と有用油脂生産への展開」
 岡 拓二（崇城大学生物生命学部）
 「糸状菌と植物の糖鎖生合成に關与する諸酵素に関する研究」
 甲斐建次（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科）
 「グラム陰性細菌の寄生・共生現象を制御するクオラムセンシング機構に関する生物有機化学的研究」
 肥塚崇男（山口大学大学院創成科学研究科）
 「植物香気成分の生合成酵素の機能進化と反応制御機構に関する研究」
 竹下典男（筑波大学生命環境系）
 「糸状菌の先端生長における極性制御機構の解析」
 崔 宰熏（静岡大学学術院農学領域）
 「菌類が産生する機能性物質に関する研究」
 成川真隆（東京大学大学院農学生命科学研究科）
 「機能性食品成分の味覚シグナルが中枢を介して発動する生理作用の解析」
 宮永顕正（東京工業大学理学院）
 「ポリケタイド化合物の分子多様性を生み出す生合成酵素の構造機能研究」
 向井理恵（徳島大学大学院生物資源産業学研究部）
 「食品機能学によるプレニルフラボノイドの特性解明」
 森 直紀（東京大学大学院農学生命科学研究科）
 「高効率合成を指向したリグナン及びテルペノイドの合成研究」
- 【農芸化学女性研究者賞】**(3件，50音順)
 飯嶋益巳（大阪大学産業科学研究所）
 「バイオセンサー表層におけるセンシング分子のナノレベル精密整列化に関する研究」
 井上奈穂（山形大学農学部）
 「植物性機能性成分による病態発症改善機能に関する研究」
 佐藤ちひろ（名古屋大学生物機能開発利用研究センター）
 「酸性糖鎖ポリシアル酸の新機能の発見とその応用展開」
- 【農芸化学若手女性研究者賞】**(3件，50音順)
 加藤晃代（名古屋大学大学院生命農学研究科/名城大学総

- 合研究所)
「有用タンパク質の微生物生産とその産業利用に関する研究」
- 田中沙智 (信州大学農学部)
「食品由来機能性成分による免疫調節作用メカニズムに関する研究」
- 山田美和 (岩手大学農学部)
「微生物による生分解性プラスチック合成および微生物由来有用酵素に関する研究」
- 【農芸化学女性企業研究者賞】(3件, 50音順)
- 小野佳子 (サントリーウエルネス株式会社)
「ポリフェノールの機能解明に関する研究とその応用開発」
- 小林 (袴田) 夕香 (株式会社J-オイルミルズ)
「きのこ由来レクチンのがん診断への応用」
- 夏目みどり (株式会社 明治)
「カカオポリフェノールに関する包括的研究」
- 2) 第14回農芸化学研究企画賞は下記のとおり表彰した。
重点研究領域① 先導的生物活性物質研究と新技術開発 (1件)
- 伊藤康博 ((国研) 農業・食品産業技術総合研究機構)
「ゲノム編集による果実成熟制御の解明と高品質果実の作出」
- 重点研究領域③ グリーンバイオテクノロジー (2件)
- 芦内 誠 (高知大学農林海洋科学部)
「“ホモキラルポリ- γ -グルタミン酸”生合成装置の分子解析と微生物工学利用」
- 藤井克彦 (山口大学創成科学研究科)
「消化汚泥を基質とした水素発酵に関するバイオテクノロジー基盤研究」
- 第14回農芸化学研究企画賞の副賞として, 下記18社より27口の御寄附をいただいた。
- アサヒグループホールディングス(株), 味の素(株), 天野エンザイム(株), (株)カネカ, キッコマン(株), 協和発酵キリン(株), キリン(株), 月桂冠(株), サッポロホールディングス(株), サントリーウエルネス(株), 第一三共(株), 日東薬品工業(株), 長谷川香料(株), 不二製油(株), (株)明治, 森永乳業(株), ヤマサ醤油(株), ライオン(株)
- 3) 2016年度B.B.B.論文賞 (10件) を下記のとおり表彰した。
- pp. 232~240 Keug Tae Kim, Yoko Chiba, Hiroyuki Arai & Masaharu Ishii
Discovery of an intermolecular disulfide bond required for the thermostability of a heterodimeric protein from the thermophile *Hydrogenobacter thermophilus*
- pp. 399~406 Takashi Koyanagi, Akira Nakagawa, Masashi Kiyohara, Hiroshi Matsui, Atsushi Tsuji, Florin Barla, Harumi Take, Yoko Katsuyama, Koji Tokuda, Shizuo Nakamura, Hiromichi Minami, Toshiki Enomoto, Takane Katayama & Hidehiko Kumagai
Tracing microbiota changes in *yamahai-moto*, the traditional Japanese sake starter
- pp. 432~439 Tomoaki Anabuki, Miu Tsukahara, Hideyuki Matsuura & Kosaku Takahashi
Tandem photoaffinity labeling of a target protein using a linker with biotin, alkyne and benzophenone groups and a bioactive small molecule with an azide group
- pp. 694~705 Kohji Nishimura, Erika Matsunami, Shohei Yoshida, Shuhei Kohata, Junji Yamauchi, Mitsuo Jisaka, Tsutomu Nagaya, Kazushige Yokota & Tsuyoshi Nakagawa
The tyrosine-sorting motif of the vacuolar sorting receptor VSR4 from *Arabidopsis thaliana*, which is involved in the interaction between VSR4 and AP1M2, μ 1-adaptin type 2 of clathrin adaptor complex 1 subunits, participates in the post-Golgi sorting of VSR4
- pp. 726~734 Sunita Maharjan, Yasuyoshi Sakai & Jun Hoseki
Screening of dietary antioxidants against mitochondria-mediated oxidative stress by visualization of intracellular redox state
- pp. 1006~1011 Shingo Miyata, Jun Inoue, Makoto Shimizu & Ryuichiro Sato
Allyl isothiocyanate suppresses the proteolytic activation of sterol regulatory element-binding proteins and *de novo* fatty acid and cholesterol synthesis
- pp. 1012~1019 Yuki Atago, Jun Shimodaira, Naoto Araki, Nor'azizi Bin Othman, Zuriati Zakaria, Masao Fukuda, Junichiro Futami & Hirofumi Hara
Identification of novel extracellular protein for PCB/biphenyl metabolism

- pp. 1792~1801 in *Rhodococcus jostii* RHA1
Ken Oda, Shiho Terado, Rieko Toyoura, Hisashi Fukuda, Moriyuki Kawauchi & Kazuhiro Iwashita
Development of a promoter shutoff system in *Aspergillus oryzae* using a sorbitol-sensitive promoter
- pp. 1954~1959 Seiji Kojima, Kanako Hayashi, Saeko Tochigi, Tomonobu Kusano, Jun Kaneko & Yoshiyuki Kamio
Peptidoglycan-associated outer membrane protein Mep45 of rumen anaerobe *Selenomonas ruminantium* forms a non-specific diffusion pore via its C-terminal transmembrane domain
- pp. 2425~2436 Hiroyoshi Inaba, Takuya Kishimoto, Satoru Oishi, Kan Nagata, Shunsuke Hasegawa, Tamae Watanabe & Satoshi Kida
Vitamin B1-deficient mice show impairment of hippocampus-dependent memory formation and loss of hippocampal neurons and dendritic spines: potential microendophenotypes of Wernicke-Korsakoff syndrome
- 4) Most-Cited Review Award を下記のとおり表彰した
(1件, 被引用回数21回).
Vol. 78, No. 8, pp. 1283~1292
Ryusuke Niwa & Yuko S. Niwa
Enzymes for ecdysteroid biosynthesis: their biological functions in insects and beyond
- 5) 2017年度大会トピックス賞として下記30題を表彰した.
- 3J27p10 平野伸一 一般財団法人電力中央研究所
「電気を還元力とした鉄酸化細菌による二酸化炭素からの有用物質生産」
- 3J27p08 阪井研人 京都大学大学院農学研究科
「気相の二酸化炭素を直接還元する新奇バイオカソードの構築」
- 2C11a04 Ruoyin FENG 北海道大学大学院総合科学院
「An unprecedented glutamate epimerase for bacterial peptidoglycan biosynthesis」
- 3C15a08 森 美穂子 北里大学大学院感染制御科学府
「糸状菌代謝産物 ovalicin は赤痢アメーバ症肝膿瘍モデルハムスターに対して治療効果を示す」
- 3J33a10 金井 保 京都大学大学院工学研究科, JST・CREST
「新規な一次構造をもつキチナーゼの同定」
- 3J34a08 中藤裕子 京都工芸繊維大学応用生物学課程
「 γ -グルタミル化によるタンパク加水分解物の苦味低減とココ味の付与」
- 4A03a11 伊藤慎一郎 高砂香料工業株式会社 研究開発本部
「リアルタイム香気分析装置を利用した「喉越し感」に寄与する香りバランス変化に関する考察」
- 3A04a09 谷川篤史 サッポロビール株式会社
「日本生まれのフレーバーホップ「ソラチエース」の特徴香について」
- 2A08a10 都築 毅 東北大学大学院農学研究科
「異なる年代の日本食の成分比較とその応用」
- 4A08a08 清水初実 名古屋大学大学院生命農学研究科
「朝食欠食モデルラットに高脂肪食を与えた場合の体脂肪および肝臓代謝リズムの変動」
- 4B09a08 山田脩平 九州大学大学院農学研究院
「緑茶カテキン EGCG のがん幹細胞抑制作用に関与する分子の同定」
- 2B09p16 奥村暢章 株式会社山田養蜂場本社
「ローヤルゼリーの長期投与は4系統ヘテロマウスの健康寿命を延長する」
- 3A06a03 永井研迅 宇都宮大学農学部
「コラーゲン由来抗うつペプチドの同定およびその脳脊髄液への移行」
- 3A06a10 永盛友樹 ライオン株式会社
「睡眠の質改善素材：清酒酵母による肌質改善作用とそのメカニズム解析」
- 2C19a03 平野里佳 石川県立大学生物資源環境学部
「プロバイオティクス細菌を特異的に増殖させる次世代型プレバイオティクス・ガラクトシル- β -1,4-ラムノースの開発と偽膜性腸炎原因菌 *Clostridium difficile* の生育抑制」
- 3C19a04 篠原 信 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
「必要最小限の土壤微生物（エレメンタル土壤微生物）の有機物耐性」
- 3C17p05 杉山圭一 国立医薬品食品衛生研究所
「酵母凝集反応を利用した新規エピジェネティック変異原検出法の開発」
- 2C18p06 片山琢也 東京大学大学院農学生命科学研究科
「麹菌実用株における CRISPR/Cas9 システムを用いた効率的な多重変異株取得法の確立」
- 3C24a05 高木博史 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科
「プロリン蓄積によりストレス耐性が向上したパン酵母変異株の分離と特性解析」
- 3C23p11 嶋本孝平 酒類総合研究所, 広島大学大学院
「ポジティブセレクションが出来ない遺伝子の麹菌ゲノム編集法の開発」

- 3C26a07 廣瀬修一 長瀬産業株式会社
「tRNA の稼働率に着目した物質生産性を向上させる方法」
- 3C26a10 松井大亮 富山県立大学工学部, JST・ERATO
「帰納法による可溶性発現技術の開発」
- 4C26a06 若井 暁 神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科
「遺伝子組み換え麹菌培養上清カクテルを用いた希少糖高生産プロセスの開発」
- 3A02p02 竹内智枝理 九州大学大学院農学研究院
「新規膀胱がん幹細胞制御分子の同定」
- 2A03p07 岸本謙太 京都大学大学院農学研究科
「ゲノム編集技術を用いた海産養殖魚の品種改良」
- 3A01p07 三好里奈 京都大学大学院農学研究科
「ABCA1 と apoA-I によるコレステロール排出メカニズム解明への新しい定量的アプローチ」
- 3A02p14 岩槻 健 東京農業大学応用生物科学部
「霊長類味蕾オルガノイド培養系の確立」
- 2J30a06 戸澤 讓 埼玉大学大学院理工学研究科
「日本型イネ由来の新規除草剤抵抗性遺伝子 *HIS1* の機能解析」
- 3J31p13 伊福健太郎 京都大学大学院生命科学研究科
「実用珪藻 *Chaetoceros gracilis* のバイオファクトリー化に向けた基盤技術の開発」
- 3J29a04 尾形 慎 福島工業高等専門学校物質工学科
「インフルエンザウイルスの種間伝播機構解明を可能にする異種抗原型糖鎖プローブの開発」
- 6) 2017年度, 支部における各賞を下記のとおり表彰した.
- 【日本農芸化学会北海道支部 奨励賞】 1件
崎浜靖子 (北大院農)
「植物色素ベタレインの活性窒素消去機能」
- 【日本農芸化学会北海道支部 学生会員奨励賞】 2件
Min Ma (北大院農)
「3つの微生物 α -グルコシダーゼの分子機構に関する研究」
Zetryana Puteri Tachrim (北大院農)
「生体成分の化学的特性を利用した有機化学合成法の検討」
- 【日本農芸化学会北海道支部 第1回学術講演会 学生優秀発表賞 (ポスター発表)】 3件
Zetryana Puteri Tachrim (北大院農)
「Synthesis and utilization of N-TFA-protected α -amino acid N-hydroxysuccinimide ester as potential acyl donor for Friedel-Crafts reaction」
Jukkrapong Pinyo (北大院農)
「The role of endogenous GLP-1 against the development of glucose intolerance in rats fed a high fat and high sucrose diet」
- 菊池麻子 (北大院農)
「新奇な基質認識機構を有する α -galactosidase に関する研究」
- 【日本農芸化学会北海道支部 第1回学術講演会 学生優秀発表賞 (口頭発表)】 3件
佐藤わかな (北大院農)
「食品由来高分子プロアントシアニジンの構造と α -アミラーゼ阻害活性の関係」
佐竹実菜子 (北大院農)
「機能性糖質摂取によるコール酸投与ラットの菌叢改変に基づいたデオキシコール酸生成菌と相互作用する腸内細菌種の探索」
荻原 毅 (北大院農)
「抽だい抑制化合物はジベレリン不活化酵素遺伝子の発現を誘導する」
- 【日本農芸化学会 東北支部 若手奨励賞】 2件
乙木百合香 (東北大学大学院農学研究科)
「プラズマローゲンの機能解明」
勝部 哲 (東北大学大学院農学研究科)
「大腸菌のアラニン排出輸送体の生理的役割の解明—新規 L-アラニン及び D-アラニン排出輸送体の同定と機能解析」
- 【日本農芸化学会 関東支部 優秀発表賞 (口頭発表部門)】 4件
金澤拓史, 柳 榮美, 高谷直樹 (筑波大・生命環境)
「環境中のビタミン恒常性を担う複合微生物系」
渡辺宏紀¹, 稲葉知大², 尾花 望³, 宮野泰征⁴, 野村暢彦³
(¹筑波大院・生命環境, ²産総研・環境管理, ³筑波大・生命環境, ⁴秋田大院・理工)
「海洋単離株 FT01 株はバイオフィルム形成により金属を腐食し鉄飢餓から逃れる」
渡邊 佑¹, 服部達也², 川口真以子², 竹中麻子¹
(¹明治大農・農化, ²明治大農・農)
「食餌性ビタミン E 欠乏がマウスの社会性認知能力に及ぼす影響」
工藤 慧¹, 新家一男², 西山 真¹, 葛山智久¹
(¹東大・生物工学セ, ²産総研)
「ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤トリコスタチン A の生合成機構の解明」
- 【日本農芸化学会 関東支部 優秀発表賞 (ポスター発表部門)】 4件
伊藤洋輔¹, 矢澤正道², 菊地俊介¹, 安保 充²
(¹明大院農・農化, ²明大農・農化)
「蛍光プローブを用いた植物根細胞外酸化還元物質の選択的分析」
長谷知輝¹, 宍戸 駿¹, 浜口 毅², 篠原もえ子², 山田正仁², 小林彰子¹
(¹東大院・農生科・応生化, ²金沢大・医)

- 「ロスマリン酸による脳内モノアミン変動の解析」
三浦一輝¹, 小野寺千尋², 袴田 航^{1,2}, 平野貴子^{1,2}, 西尾俊幸^{1,2}
(¹日大院・生資科, ²日大・生資科・生命化)
「新規ゴルジ体 β -ガラクトシダーゼの発見とスクリーニングにより見出した特異的阻害剤を用いた細胞内機能の解明」
亀卦川 樹, 向井有理 (明治大院理工・電気)
「II型膜貫通タンパク質の細胞内局在性とその要因に関する考察」
- 【日本農芸化学会中部支部 支部功労賞】 3件
田口 寛, 中久喜輝夫, 間瀬民生
- 【日本農芸化学会中部支部 支部奨励賞】 12件
堀 蘭 (名大院・生命農)
「*E. coli* ビタミン B6 結合タンパク質 YggS の機能解明 : glyA との合成致死性の解析」
松田貫暉 (福井県立大・生物資源)
「streptothricin 類 緑 生 合 成 遺 伝 子 群 に 見 出 した aminoacyl-tRNA 依存型ペプチド合成酵素における基質認識機構の解析」
濱島知里 (信大院・総合理工)
「野沢菜漬の発酵に伴う菌叢の変化と免疫調節作用への影響」
宮坂忠親 (名大院・生命農)
「フグ毒テトロドトキシンの推定生合成中間体の化学合成研究」
王 吉力特 (岐阜大・応用生物)
「米糠タンパク質はコレステロール代謝改善作用を発揮する」
都築 翔 (名城大・農)
「生きた麹菌を用いた新規プロバイオティクスのよる宿主の腸内代謝物及び細菌叢の変化」
高木航太郎 (静大院・総合科技)
「微生物分泌性膜小胞を介した細菌細胞間の物質輸送システムの機構解析」
田辺勇輝 (名大院・創薬科学)
「表皮形成を司るタンパク質架橋化酵素に関する研究」
林本敬大 (名大院・生命農)
「アネキシン A11 とその ALS 関連変異体の過剰発現がもたらすカルシウムホメオスタシスへの影響」
今村美友 (名大院・生命農)
「サイトカニン情報伝達によるシロイヌナズナ軸性器官における細胞分裂活性の制御機構」
福田茉由 (名大院・生命農)
「ピロリン酸蓄積が引き起こすシロイヌナズナの形態変化と窒素源の関連」
植田健太 (名大院・生命農)
「植物の気孔密度を制御するペプチドホルモン stomagen のミミックペプチドの設計」
- 【日本農芸化学会関西支部 第499回講演会 優秀発表賞 (支部長推薦)】 1件
稲葉理美 (高輝度光科学研究センター)
「補助刺激受容体 CD28 細胞内領域に対するシグナル伝達分子 SH2 の分子認識機構解明」
- 【日本農芸化学会関西支部 第501回講演会 優秀発表賞 (支部長推薦)】 1件
小西英仁 (京大院・農)
「ヘテロなフラジェリンから構成される Sphingomonas 属細菌 A1 株のべん毛形成と多糖ペクチン資化・走化性発現」
- 【日本農芸化学会関西支部 第501回講演会 優秀発表賞 (賛助企業推薦)】 1件
新出ひかる (神戸大・農)
「シロイヌナズナの 2-hexenal 情報伝達系に関わる Cyclic nucleotide-gated Ca channel のスクリーニング」
- 【日本農芸化学会関西支部 第502回講演会 優秀発表賞 (支部長推薦)】 1件
松岡史也 (京大院・農)
「代謝改変酵母によるアルギン酸由来モノウロン酸 DEH の代謝の機構と転写コリプレッサー Tup1-Cyc8 との関連」
- 【日本農芸化学会関西支部 第502回講演会 優秀発表賞 (賛助企業推薦)】 1件
河合菜月 (京女大食物)
「果物・野菜アレルゲンコンポーネント解析へのリアルタイム PCR の導入」
- 【日本農芸化学会関西支部 支部技術賞】 2件
江崎グリコ株式会社 (古屋敷 隆, 角谷 亮, 梶浦英樹, 高田洋樹)
「グリコーゲンの酵素的製造方法の開発と応用研究」
日東薬品工業株式会社, 久 景子, 株式会社ロッテ, 宇佐美クランク陽子, 京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻, 岸野重信, 小川 順
「新たな乳酸菌コーティング技術の開発と食品への応用展開」
- 【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞 (学生部門)】 36件
小川貴史 (広島大学大学院先端物質科学研究科)
末川麻里奈 (広島大学大学院生物圏科学研究科)
西野耕平 (鳥取大学大学院連合農学研究科 (島根大学配属))
山田みな美 (鳥取大学大学院農学研究科)
渡子 開 (島根大学大学院生物資源科学研究科)
勝部 諒 (岡山大学大学院環境生命科学科学研究科)
川井恵梨佳 (岡山県立大学大学院保健福祉学研究科)
吉川友理 (岡山理科大学大学院理学研究科)
手島愛子 (広島大学大学院先端物質科学研究科)
小路美紀 (近畿大学大学院システム工学研究科)
寺田優花 (山口大学大学院創成科学研究科)

木下智貴（水産大学校水産学研究所）
 橋井圭介（香川大学大学院農学研究科）
 水崎 愛（愛媛大学大学院農学研究科）
 福田泰士（徳島大学大学院栄養生命科学教育部）
 村上彩良（徳島大学大学院先端技術科学教育部）
 大塚祐季（高知大学大学院総合人間自然科学研究科）
 大谷直輝（鳥取大学農学部）
 小椋健司（米子工業高等専門学校物質工学科）
 久我一弘（島根大学生物資源科学部生命工学科）
 松川加奈（岡山大学農学部農芸化学コース）
 後藤千尋（岡山大学薬学部薬学科）
 藤尾郷史（岡山大学薬学部創薬科学科）
 長崎祐樹（岡山県立大学保健福祉学部栄養学科）
 安田仁麻（くらしき作陽大学食文化学部栄養学科）
 益村晃司（広島大学工学部）
 田原裕介（近畿大学工学部化学生命工学科）
 大塚 葵（山口大学農学部生物機能科学科）
 川崎千聖（山口大学工学部応用化学科）
 藤野遼也（山口大学理学部生物・化学科生物学コース）
 窪田 暉（水産大学校食品科学科）
 伊藤瑞希（宇部工業高等専門学校物質工学科）
 小山麻理子（香川大学農学部応用生物科学科）
 三由綾香（愛媛大学農学部応用生命化学コース）
 森川瑠美（徳島大学工学部）
 米津ひとみ（高知大学農学部農学科生命化学コース）
【日本農芸化学会西日本支部 優秀発表賞】 10件
 堀 啓華（九大院・農）
 「ヘパロサン糖鎖合成の構造基盤解析」
 篠原由衣（九大院・農）
 「植物ポリフェノールによる腸管出血性大腸菌の病原性抑制」
 藤野友輔（九大院・農）
 「分裂酵母における非性的凝集素Gsf2のガラクトース鎖認識部位の探索」
 河野祥尚（九大院・農）
 「自家熱型高温好気発酵過程における機能性遺伝子の網羅的解析」
 Kwon Hee Su（九大院・農）
 「Unconventional secretion of acyl-CoA binding protein in *Aspergillus oryzae*」
 井上咲希（九大院・農）
 「ラットにおけるスクロース誘導性脂肪肝のメタボロミクス」
 錦戸里紗（九大院・農）
 「脂質代謝関連転写因子SREBP-1cの発現制御遺伝子の同定」
 日野由佳子（九大院・農）
 「大豆ペプチドはカゼインペプチドより効果的に脳内カテコールアミン代謝を促進する」

大下皓太（北九州市大院）
 「クロロフィルの反射光スペクトルによるオイル産生微生物類の非破壊的生育モニタリング」
 村井雄大（九大院・農）
 「エマルジョンドロップレットを用いた微生物培養法」
【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞（学生の部）】 1件
 田中 優（九州大学大学院生物資源環境科学府 生物産業創成専攻）
 「新生児の生後1年間の腸内細菌叢変化と食物アレルギー発症の関連性についての研究」
【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞（一般の部）】 2件
 石橋洋平（九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門）
 「脂質代謝に関与する新規酵素・制御因子に関する研究」
 黒木勝久（宮崎大学農学部 応用生物科学科）
 「硫酸転移酵素機能の多様性に関する研究」

(4) 助成金・補助金・交付金の交付を通じて農芸化学の発展を目的とする事業

- 1) 学校教育における農芸化学の普及活動の補助
 2017年度は1件の申請があり、下記のとおり採択、補助を行った。
 1 「氷河期の遺存植物であるミツガシワの保全生態学的研究」(2017年10月中旬～2018年1月、大分県立日田高等学校) 申請者：船津勇一氏（大分県立日田高等学校指導教諭）、補助額200,000円
- 2) 外国人等講演会の開催補助
 2017年度の申請はなかった。
- 3) 国際シンポジウムの開催補助
 申請が1件あり、採択した。
 1 [No.23]「Asian Forum on Environmental Microbiology」(2017年9月1日、東北大学川内キャンパス内マルチメディア教育研究棟M206)《共催》参加者91名、補助額300,000円
- 4) 藪田講演会の開催補助
 2017年度の申請はなかった。
- 5) 藪田セミナーの開催補助
 2017年度の申請はなかった。
- 6) 高校生向け理科実験プロトコルの作成、公開
 2017年現在、微生物に関する以下3件のプロトコルを公開している。
 ・土壌からの酵素生産微生物の分離
 ・麹菌のアミラーゼ検出実験
 ・簡易DNA抽出実験
- 7) 中学校・高等学校への出前授業
 2017年度は下記のとおり、全8回開催した。
 1 [第42回] 2017年3月9日（木）目黒区立目黒中央中学校「企業での研究開発と商品化の実例の紹介：プラズマ乳酸菌」講師：藤原大介氏（キリンホールディングス株式会社）

社) 聴講者: 生徒207名

2 [第43回] 2017年3月15日(水) 守口市立第一中学校
「おもしろ生物学: すべての生物のエネルギー源を作っている“ルビスコ”って何?」講師: 横田明穂氏(奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授) 聴講者: 生徒130名

3 [第44回] 2017年7月19日(水) 東京都立小金井北高等学校
「毎日の食べものを確保するためには?」講師: 浅見忠男氏(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授) 聴講者: 生徒48名

4 [第45回] 2017年10月2日(月) 愛媛県立八幡浜高等学校
「体験! バイオテクノロジー」講師: 渡辺誠也氏(愛媛大学大学院農学研究科 教授) 聴講者: 生徒20名, 教員1名

5 [第46回] 2017年10月13日(金) 熊本県立宇土高等学校
「微生物のおかげです. 焼酎造りからノーベル賞まで!」講師: 玉置尚徳氏(鹿児島大学農学部教授) 聴講者: 生徒25名

6 [第47回] 2017年11月6日(月) 東京都立東村山西高等学校
「栄養と代謝」講師: 江草 愛氏(日本獣医生命科学大学 講師) 聴講者: 生徒13名, 教員6名

7 [第48回] 2017年11月14日(火) 洲本市立五色中学校
「身近な発酵食品を支える微生物のはなし」講師: 竹中慎治氏(神戸大学大学院農学研究科 教授) 聴講者: 生徒94名, 教員17名

8 [第49回] 2018年1月29日(月) 明石市立魚住中学校
「ゲノム科学からわかってきた自然界における納豆菌・乳酸菌の役割と利用法」講師: 石川 周氏(神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 准教授) 聴講者: 生徒260名, 教員5名

8) 研究奨励金, 国際会議出席費補助金の助成

[第45回 研究奨励金] 5件 2,500,000円

柘植陽太(金沢大学新学術創生研究機構)

「酸素をスイッチとした二つの樹脂原料の個別生産」500,000円

片山秀和(東海大学工学部生命化学科)

「甲殻類由来インスリンファミリーペプチドの化学合成と構造活性相関」500,000円

白石 都(大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻機能物質化学領域)

「超好熱性アーキア *Pyrococcus furiosus* 由来 Endonuclease Q が介する DNA 修復経路の解明~相互作用タンパク質の同定~」500,000円

池田有理(明治大学理工学部電気電子生命学科)

「不老不死生物ベニクラゲに存在するヒトがん細胞の細胞死・細胞分化誘導タンパク質の網羅的発見」500,000円

藤田敏次(弘前大学大学院医学研究科ゲノム生化学講座)「細菌由来 DNA 認識酵素を応用した標的 DNA 除去技術の開発」500,000円

[第70回 国際会議出席費補助金] 4件 760,000円

生方 信(北海道大学大学院農学研究院)

「国際生化学会議 生化学会議2017」(2017/11/2~11/3 アメリカ, シカゴ) 200,000円

児島憲二(京都大学大学院農学研究科)

「第37回アメリカ中西部酵素化学会議」(2017/10/14 アメリカ, シカゴ) 200,000円

竹井悠一郎(高知県立大学健康栄養学部)

「食品科学・栄養学国際学会2017」(2017/10/25~10/26 マレーシア, コタキナバル) 160,000円

田 スチ(東京大学大学院農学生命科学研究科)

「2017年米国細胞生物学会・欧州分子生物学機構 合同大会」(2017/12/2~12/6 アメリカ, フィラデルフィア) 200,000円

9) 被災地理科教育支援として, 福島県の高等学校へ理科物品の補助

福島県立小高産業技術高校へ 3,000,000円の理科物品の補助を決定した.

10) 支部所属の会員へ研究会開催のための補助

北海道支部: 7件 補助額 70,000円

・講演会「「きぼう」利用高品質タンパク質結晶生成実験について」2017年6月20日, 北海道大学農学部総合研究棟 W109 10,000円

・講演会「PCRのコンタミネーションってなに? —なぜネガティブコントロールが増幅するのか—」2017年6月20日, 北海道大学農学部 N13講義室 10,000円

・講演会「和食の基盤, 麴に含まれるグリコシルセラミドの機能性」8月24日, 北海道大学農学部 N13講義室 10,000円

・講演会「Novel insight in the metabolism of dietary glycans and glycosides by human gut bacteria」2017年10月23日, 北海道大学農学部 S32室 10,000円

・講演会「Probiotics versus pathogens: why and how?」2017年10月23日, 北海道大学農学部 S32室 10,000円

・講演会「A unique *Solanum torvum* GH3 β -glucosidase: From its substrate specificity to molecular characterization.」2017年12月21日, 北海道大学農学部 N21室 10,000円

・講演会「Poly- and Oligosaccharides Playing Central Roles in Dairy, Food and Nutrition Sciences」2018年3月23日, 北海道大学農学部総合研究棟 1F W109室 10,000円

関東支部: 3件 補助額 300,000円

・2017年度グラム陽性菌ゲノム機能会議 2017年8月25日~26日, KKR熱海 100,000円

・第16回微生物研究会 2017年11月18日, 東京工業大学 すすかけ台キャンパス 100,000円

・天然物化学研究会「天然物化学の現在・未来」2017年12月1日, 東京農業大学世田谷キャンパス 100,000円

中部支部：2件 補助額80,000円

- ・第19回静岡ライフサイエンスシンポジウム 2018年3月4日, 静岡大学 大学会館 大ホール 30,000円
- ・第10回北陸合同バイオシンポジウム 2017年11月10日～11日, 富山県立大学 大講堂・いこいの村 磯波風 50,000円

関西支部：2件 補助額200,000円

- ・第5回奈良まほろば産学官連携懇話会 2017年9月8日 奈良先端科学技術大学院大学 100,000円
- ・第6回植物二次代謝フロンティア研究会 2017年12月11, 12日 淡路島夢舞台 国際会議場 100,000円

11) 支部所属の学生会員へ年次大会等への参加旅費の補助
北海道支部

年次大会(名古屋)参加旅費補助
16名 補助額727,470円

東北支部

2017年度東北支部若手の会参加費補助
54名 補助額270,000円

中四国支部

例会参加補助6名 補助額81,470円

【その他の事業】

(1) 事業活動の公開と情報発信事業

1) ホームページ及びパンフレットによる本会の活動内容等の公開(日本語版・英語版)

学会ホームページ日本語版, 農芸化学関連大学大学院研究科・専攻一覧において, 学部情報を更新した。

学会ホームページ英語版の充実化を図り, Visionary 農芸化学100シンポジウムのページを開設した。

2) ニュースメールの活用, 本会の活動内容等の逐次発信
2017年はメールアドレス登録会員向けニュースメールを21回配信した。メールアドレス登録者は2018年2月現在約7,160名である。

支部の会員に限定し, 支部からの案内メールを下記のとおり配信した。

北海道支部5回, 関東支部15回, 中部支部3回, 関西支部17回, 中四国支部14回, 西日本支部4回

ニュースメール, 支部案内メールとは別に, 講演会やセミナーの案内, 各委員会からのお知らせ等のメール配信を6回配信した。

3) 内外の関連機関と会誌の寄贈・交換

2017年の会誌の寄贈・交換は下記のとおりである。

[和文誌の寄贈・交換] 25件(国内17件, 海外8件)

国内:

- ・国会図書館
- ・農林水産省図書館
- ・科学技術振興機構
- ・工業所有権情報研修館
- ・国際医学情報センター
- ・日本化学会
- ・日本生化学会
- ・日本生物工学会
- ・日本地質学会
- ・日本薬学会

- ・繊維学会
- ・日本香料協会
- ・バイオインダストリー協会
- ・有機化学合成協会
- ・山陽技術振興会
- ・科学新聞
- ・UBMメディア(株)「食品と開発」編集部

海外:

- ・中国農業化学会(台)
- ・The British Library(英)
- ・The Science Library Science Museum(英)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences(中)
- ・The Library of Chinese Academy of Sciences(中)
- ・Chemical Abstracts Service(米)
- ・USDA National Agricultural Library(米)
- ・Russian Academy of Sciences Library(露)

[英文誌の寄贈・交換] 16件(国内6件, 海外10件)

国内:

- ・国会図書館
- ・科学技術振興機構
- ・工業所有権情報研修館
- ・日仏工業技術会
- ・日本化学会
- ・日本薬学会

海外:

- ・The British Library(英)
- ・China National Chemical Information Center(中)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences(中)
- ・The Library of Congress Asian Middle Eastern division(米)
- ・The Institute of Scientific Information Russia Academy of Sciences(露)
- ・Russian Academy of Sciences Library(露)
- ・The Library Publications & Information Directorate(印)
- ・Institute of Organic Chemistry & Biochemistry(チェコ)
- ・Agricultural Science in Finland(フィンランド)
- ・I.N.R.A.C.R.de Jouy-en-Josas Domainede VilvertUnite Centrale de Documentation(仏)

4) フェロー制度を活用, 本会の発展に顕著な貢献をなした正会員の功績を称えとともに, 本会の更なる発展へ向けての活動を囑する。

2017年度にフェロー26名を承認し, 2018年2月現在, 96名となった。

[2017年度承認26名 氏名五十音順]

麻田恭彦, 安達修二, 池田郁男, 裏出令子, 大島敏久, 小鹿一, 川端潤, 北島直文, 工藤俊章, 小林哲夫, 駒井三千夫, 五味勝也, 小山泰二, 重岡成, 菅沼俊彦, 園元謙二, 中野長久, 中村保典, 原博, 古川謙介, 前島正義, 正木春彦, 宮川都吉, 山本憲二, 横田孝雄, 吉澤結子

[2014～2016年度承認70名 氏名五十音順]

浅野泰久, 阿部啓子, 安部康久, 伊藤幸成, 稲垣賢二, 井

上國世, 生方 信, 江坂宗春, 遠藤銀朗, 大澤俊彦, 大東 肇, 長田裕之, 尾添嘉久, 小田耕平, 加藤陽治, 上村一雄, 河合富佐子, 河岸洋和, 木曾 真, 北本勝ひこ, 木村 誠, 久原 哲, 熊谷日登美, 河野憲二, 後藤俊男, 齋藤忠夫, 澤 嘉弘, 沢村正義, 清水(肖)金忠, 新免芳史, 水光正仁, 須貝 威, 關谷次郎, 平 秀晴, 田中啓司, 田之倉 優, 土屋英子, 寺尾純二, 徳田 元, 戸坂 修, 西田律夫, 西村弘行, 早川 茂, 林 英雄, 深見治一, 福田惠温, 福田雅夫, 伏木 亨, 藤田泰太郎, 牧 正敏, 松井博和, 松尾憲忠, 松下一信, 松田 譲, 松本正吾, 宮澤陽夫, 三輪清志, 三輪 操, 村田幸作, 森 信寛, 柳田晃良, 山田耕路, 山田 守, 山根久和, 山本万里, 横井川久己男, 横関健三, 横田明穂, 吉田 稔, 依田幸司

5) 農芸化学領域における重点領域分野を検討し, 積極的に推進した。

(2) 関連学協会, 産業界, 官界等との連携・協力の推進事業

- 1) 日本学士院に会員候補1名を推薦した。
- 2) 日本学術会議の活動に「日本学術会議協力学術研究団体」として密接に連携した。
- 3) 日本学術会議農芸化学分科会との連携を強化した。

2017年度に開催したサイエンスカフェのうち,

第104回「みかんを食べて健康になろう～柑橘成分の健康効果～」, 第109回「和食の味を彩る麹菌, その知られざる姿と未来」, 第111回「エッグサイティング! 卵の可能性」を日本学術会議農芸化学分科会と共催し, 分科会メンバーが挨拶を行った。

- 4) 日本農学会に評議員, 運営委員として会員を派遣し, 活動した。

2017年度に開催された日本農学会運営委員会に庶務理事が出席し, 日本農学会評議員会に会長, 副会長が出席した。また2018年度(平成30年度)日本農学賞受賞候補者を1件推薦した。

- 5) 農学会の技術者教育推進委員会に委員として会員を派遣し, 活動した。

農学会の技術者教育推進委員会及び農学一般関連分野審査委員会にJABEE対応委員長が出席した。

- 6) 日本技術者教育認定機構(JABEE)農芸化学系, 生物工学系の認定審査に審査員・オブザーバー等として会員を派遣し, 活動した。

2017年度には農学一般関連分野で3件の継続審査(実地審査)がありオブザーバー1名を派遣した。生物工学及び生物工学関連分野では審査がなかった。

- 7) JABEE農学系分野審査講習会を協賛し, 本会会員の参加を促した。

JABEE農学系分野審査講習会にJABEE対応委員長が出席した。

- 8) 化学情報協会の正会員として, 活動した。
- 9) 日本国際食品科学工学連合に会員として参加した。

・公開シンポジウム「機能性食品の効能・安全性評価の現状と課題」が開催され, 本会会員が世話人を務めた。

・World Congress of Food Science and Technology 2018(印)への参加準備をすすめた。

- 10) 日本光生物学協会に委員として会員を推薦し, 活動した。

日本光生物学協会委員会に本会会員1名が出席した。

- 11) 日本微生物学連盟に会員, 理事として参加し, 活動した。

日本微生物学連盟理事会に本会代表として庶務理事が出席した。

- 12) 日本昆虫科学連合に会員として参加し, 活動した。

日本昆虫科学連合総会・シンポジウムに本会会員2名が出席した。

- 13) 男女共同参画学協会連絡会に会員として参加し, 活動した。

・男女共同参画学協会連絡会運営委員会に男女共同参画担当理事及び委員が出席した。

・各学会年次大会での発表者等における属性調査について本会の結果を報告した。

・男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに男女共同参画理事及び委員が参加し, 連絡会大規模アンケート解析について理事が報告を行い, 本会の活動報告を委員がポスター発表した。

・女子中高生夏の学校2017に委員1名が参加し, 本会の活動を紹介するポスター発表を行った。

- 14) 生物科学学会連合に会員として参加, 活動した。

生物科学学会連合定例会議に本会代表として庶務理事が出席した。

- 15) 国内学術集会の共催・協賛・後援

【2017年】(61件)

・平成29年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業(岩手)《後援》(4月1日～3月31日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「食と味覚とエピジェネティクス～父から子へ?! 脳への影響と生活習慣病」(東京)《協賛》(4月27日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「生物学実験における限界の破壊と新素材革命の加速」(東京)《協賛》(5月15日)

・界面コロイドラーニング(東京)《協賛》(5月18日～19日)

・第62回低温生物工学会大会(セミナー及び年会)(北大)《協賛》(5月20日～21日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱11～強く, やさしく, 美しく」(東京)《協賛》(5月25日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「デジタルとIoTが広げる新たな食の可能性」(東京)《協賛》(6月2日)

・原子力総合シンポジウム2017(東京)《共催》(6月8日)

・界面コロイドラーニング(大阪)《協賛》(6月15日～16日)

- 日)
- ・構造活性フォーラム 2017 (東京)《協賛》(6月16日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「デジタル & 先端メディアと人工知能が拓く新しい食の世界」(東京)《協賛》(6月20日)
 - ・第52回天然物化学談話会(静岡)《協賛》(7月5日~7日)
 - ・異分野融合シンポジウム「微生物を基軸とした環境と電気と金属」(東工大)《協賛》(7月10日)
 - ・日本包装学会第26回年次大会(東大)《協賛》(7月11日~12日)
 - ・新学術領域研究「生合成リデザイン」第二回公開シンポジウム(北大)《協賛》(8月5日~6日)
 - ・女子中高生夏の学校2017(埼玉)《協賛》(8月5日~7日)
 - ・第30回におい・かおり環境学会(文京学院大)《協賛》(8月24日~25日)
 - ・未来を拓く高圧力科学技術セミナーシリーズ(42)「高圧力実験の装置及び素材の開発の現状と今後の課題」(広島)《協賛》(8月25日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「微生物探索の最新技術動向~先導探索技術開発とバイオ界面活性剤スクリーニング」(東京)《協賛》(9月5日)
 - ・第68回コロイドおよび界面化学討論会(神戸大)《協賛》(9月6日~8日)
 - ・日本応用糖質科学会平成29年度大会(日大)《後援》(9月6日~8日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「宇宙とバイオ」(東京)《協賛》(9月11日)
 - ・第15回高付加価値食品開発のためのフォーラム(裾野)《協賛》(9月15日~16日)
 - ・第26回日本バイオイメージング学会学術集会(東薬大)《協賛》(9月16日~18日)
 - ・2017年度日本冷凍空調学会年次大会(玉川大)《協賛》(9月26日~29日)
 - ・日本清涼飲料研究会 第27回総会・研究発表会(東京)《後援》(10月17日)
 - ・第34回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2017(東京)《協賛》(10月17日~20日)
 - ・第65回レオロジー討論会(新潟)《協賛》(10月17日~19日)
 - ・第61回プラスチックフィルム研究会講座(東工大)《協賛》(10月19日)
 - ・第17回基準油脂分析試験法セミナー(東京)《協賛》(10月19日~20日)
 - ・生物発光化学発光研究会第33回学術講演会(東邦大)《協賛》(10月21日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「ICT活用は水産業の救世主となるか?」(東京)《協賛》(10月23日)
 - ・第53回X線分析討論会(徳島大)《協賛》(10月26日~27日)
 - ・第40回ケモインフォマティクス討論会(山口)《共催》(10月26日~27日)
 - ・第15回日本糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム(九州大)《後援》(10月26日~27日)
 - ・第4回FCCA シンポジウム・グライコサイエンス若手フォーラム2017(東京理科大)《後援》(10月28日)
 - ・第100回 日本栄養・食糧学会 関東支部大会記念シンポジウム(東農大)《後援》(10月28日)
 - ・大豆のはたらき in 大阪—おいしさと健康を通して(大阪)《後援》(11月6日)
 - ・第64回界面科学部会秋季セミナー(葉山)《協賛》(11月6日~7日)
 - ・第11回多糖の未来フォーラム(大阪大)《共催》(11月7日)
 - ・第1回オレオマテリアル学術交流会(東京理科大)《協賛》(11月8日)
 - ・第58回高圧討論会(名古屋大)《協賛》(11月8日~10日)
 - ・第85回日本醤油研究発表会(仙台)《後援》(11月9日~10日)
 - ・第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会(沖縄)《後援》(11月9日~12日)
 - ・第54回植物化学シンポジウム(東大)《共催》(11月10日)
 - ・第50回酸化反応討論会(神奈川大)《共催》(11月11日~12日)
 - ・第55回粉体に関する討論会(塩釜)《協賛》(11月13日~15日)
 - ・平成29年度後期(秋季)有機合成化学講習会(東京)《共催》(11月15日~16日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「商品偽装を斬る!!」(東京)《協賛》(11月17日)
 - ・日本希土類学会第35回講演会(東京)《協賛》(11月20日)
 - ・第54回ペプチド討論会(阪府大)《共催》(11月20日~22日)
 - ・第22回静岡健康・長寿学術フォーラム(静岡)(11月24日~25日)
 - ・第45回構造活性相関シンポジウム(茨城)《協賛》(11月29日~30日)
 - ・内閣府SIP「次世代機能性農林水産物・食品の開発」公開シンポジウム(東京)《後援》(11月30日)
 - ・革新的環境技術シンポジウム2017(東大)《後援》(12月6日)
 - ・第44回炭素材料学会年会(桐生)《協賛》(12月6日~8日)
 - ・第112回有機合成シンポジウム(早稲田大)《共催》(12月6日~7日)
 - ・第44回有機典型元素化学討論会(東工大)《共催》(12月7日~9日)

- ・理研シンポジウム第18回分析・解析技術と化学の最先端 (和光)《協賛》(12月12日)
- ・平成29年度国立高専第4ブロック研究推進フォーラム (宇部高専)《協賛》(12月14日)
- ・新学術領域研究「生合成リデザイン」第三回公開シンポジウム (東工大)《協賛》(12月16日～17日)

【2018年】(34件)

- ・第29回高分子ゲル研究討論会 (東工大)《協賛》(1月11日～12日)
 - ・スマートセルインダストリーとバイオエンジニアリング～バイオ医薬品・バイオ素材生産株の構築から製造プロセスまで～ (東大)《協賛》(1月19日)
 - ・理研シンポジウム「細胞内糖修飾の統合的ケミカルバイオロジー」(理研)《協賛》(1月26日)
 - ・第23回高専シンポジウム in KOBE (神戸市立工業高専)《共催》(1月27日)
 - ・2018産業技術総合研究所中部センター研究講演会 (名古屋)《協賛》(1月29日)
 - ・第20回脂質栄養シンポジウム (お茶大)《後援》(2月3日)
 - ・第68回医用高分子研究会-DDS・バイオコンジュゲーションのための水溶性高分子の新展開 (東工大)《協賛》(3月1日)
 - ・第6回 低温・氷温研究会 (米子)《後援》(3月3日)
 - ・高分子と水・分離に関する研究会および2017年度界面動電現象研究会 (筑波大)《協賛》(3月6日)
 - ・第62回プラスチックフィルム研究会講座 (東工大)《協賛》(3月9日)
 - ・シンポジウム「モレキュラー・キラリティー2018」(千葉大)《共催》(5月11日～12日)
 - ・第28回万有福岡シンポジウム (九州大)《協賛》(5月12日)
 - ・第34回希土類討論会 (東京)《協賛》(5月15日～16日)
 - ・第20回マリンバイオテクノロジー学会大会 (宮崎)《協賛》(5月26日～27日)
 - ・新学術領域「生合成リデザイン」第4回公開シンポジウム (北大)《協賛》(5月26日～27日)
 - ・食品ハイドロコロイドセミナー2018 (京大)《協賛》(5月31日)
 - ・第29回食品ハイドロコロイドシンポジウム (京大)《協賛》(6月1日)
 - ・第113回有機合成シンポジウム (名古屋大)《共催》(6月6日～7日)
 - ・新規素材探索研究会第17回セミナー (横浜)《共催》(6月8日)
 - ・日本アミノ酸学会第5回産官学連携シンポジウム「アミノ酸科学の多彩な世界～その起源から未来まで～」《協賛》(東大) (6月18日)
 - ・第29回万有仙台シンポジウム (仙台)《協賛》(6月9日)
 - ・日本ケミカルバイオロジー学会第13回年会 (東京医科大学)《後援》(6月11日～13日)
 - ・平成30年度前期 (春季) 有機合成化学講習会 (東京)《共催》(6月13日～14日)
 - ・構造活性フォーラム 2018 (京都)《協賛》(6月15日)
 - ・第55回アイソトープ・放射線研究発表会 (東大)《後援》(7月4日～6日)
 - ・第53回天然物化学談話会 (大阪)《協賛》(7月4日～6日)
 - ・第8回高校生バイオサミット in 鶴岡 (慶応義塾大)《後援》(7月30日～8月1日)
 - ・第37回日本糖質学会年会 (仙台)《共催》(8月28日～30日)
 - ・第48回複素環化学討論会 (長崎)《共催》(9月3日～5日)
 - ・第35回シクロデキストリンシンポジウム (甲府)《共催》(9月4日～5日)
 - ・第60回天然有機化合物討論会 (久留米)《共催》(9月26日～28日)
 - ・地盤技術フォーラム 2018 (東京)《協賛》(9月26日～28日)
 - ・第66回レオロジー討論会 (福岡)《協賛》(10月17日～19日)
 - ・第63回リグニン討論会 (農工大)《共催》(11月1日～2日)
- 16) 和食文化国民会議に会員として参加した。
- 17) その他外部団体との連携
- ・日本学術振興会 第8回育志賞に1件を推薦した。
 - ・平成30年度文部科学大臣表彰科学技術賞の研究部門、開発部門にそれぞれ1件を、若手科学者賞に1件を推薦した。
 - ・農芸会の第16回日本農学進歩賞受賞候補者を2件推薦した。
 - ・三島海雲記念財団の第7回三島海雲学術賞に1件を推薦した。
 - ・第49回内藤記念科学振興賞および第44回内藤記念講演助成金にそれぞれ1件を推薦した。
 - ・森永奉仕会の平成29年度森永奉仕会賞に1件を推薦した。
 - ・山田科学振興財団の2018年度研究援助に1件を推薦した。

(3) 関連する国際協力の推進事業

1) 国際学術集会の共催・協賛・後援

【2017年】(5件)

- ・JASIS2017 (幕張)《後援》((9月6日～8日)
- ・プロテイン・アイランド・松山2017 (愛媛大)《後援》(9月12日～13日)
- ・アグロ・イノベーション 2017 (東京)《協賛》(10月4日～6日)
- ・第56回NMR討論会 (首都大)《協賛》(11月14日～16日)

- ・第23回名古屋メダルセミナー（名古屋大）《協賛》（12月22日）

【2018年】（7件）

- ・森永乳業創業100周年記念国際シンポジウム 腸内細菌と健康～ビフィズス菌研究の新展開～（品川）《後援》（1月28日）
- ・第23回国際植物脂質シンポジウム（横浜）《協賛》（7月8日～13日）
- ・第28回有機硫黄化学国際シンポジウム（東工大）《共催》（8月26日～31日）
- ・14th International Chitin and Chitosan Conference, 12th Asia-Pacific Chitin and Chitosan Symposium, Joint with 32nd Japanese Society for Chitin and Chitosan Conference.（関西大）《協賛》（8月27日～30日）
- ・第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）（つくば）《後援》（10月15日～19日）
- ・第14回国際有機化学京都会議（京都）《後援》（11月12日～16日）
- ・第三回国際シンポジウム「コメとグローバルヘルス～コメとコメ糠の科学～」（京都）《後援》（11月29日～30日）

2) 国際栄養学会議と連携した.

- ・第21回大会（アルゼンチン）に本会会員が参加した.
- ・また第22回大会（東京）の準備状況を説明した.
- ・主催団体である国際栄養科学連合理事に本会会員が再選した.

（4）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) 最高裁判所及び東京地方裁判所に知的財産専門委員候補者4名を推薦し、協力した.

【総会、理事会、委員会の開催】

2017年度（2017年3月1日から2018年2月28日）は下記のとおり開催した.

・総会

第61回（2017年度）定時総会を2017年5月26日、東京大学中島董一郎ホール（東京都文京区）において開催し、次の議案を可決した.

- 第1号議案 理事及び監事選任の件
- 第2号議案 計算書類等の承認の件
- 第3号議案 合併契約の承認の件

・理事会（7回）

- 1 [5月11日] ①2016年度事業報告書及び計算書類承認、②農芸化学研究奨励会との合併契約の承認、③合併後事業計画及び譲渡財産の用途、100周年事業費用準備金の計画変更の承認、④通常総会開催について、⑤定款変更の承認、⑥合併後における旧奨励会助成事業選考について
- 2 [5月26日] ①入会員の承認、②本会会員の不正行為における倫理委員会の設置について、③合併後予算案の承認、④創立100周年記念事業組織委員会の発足、⑤監査人、会計士、社労士、各社との業務委託契約、⑥農芸化学研究

企画賞規程の変更、⑦外部団体の理事の選出

3 [5月26日] ①会長及び副会長の選出並びに担当職務の分担、②特別賞の授与について

4 [7月21日] ①入会員の承認、②学生会員卒業後5年間の学生会費に据え置く優遇措置について、③中小企業への研究助成、④授賞選考の電子化、⑤ロールモデル集の作成、⑥各種規程・規則・募集要項の変更、⑦BBBのレイアウト変更、⑧被災地理科教育支援（最終支援）、⑨和文誌交換の停止、⑩2018年度大会附設展示会契約およびランチョンセミナー覚書について、⑪2018年度名古屋大会の検討事項

5 [10月25日] ①入会員の承認、②有功会員候補者の承認、③企業研究者活動表彰（仮称）の新設、④中小企業への研究助成、⑤ジュニア農芸化学会への中学校の参加について、⑥一般講演の連続発表の在り方、⑦和文誌特集号（1月号）の制作及び各種費用、⑧フェロー候補者の承認、⑨男女共同参画学協会連絡会の幹事学会の引き受け、⑩山口大学中高温微生物研究センター向け要望書、⑪国際化学オリンピック日本委員会大会組織委員会からの協力要請、⑫各種規程の変更、⑬特別賞の授与

6 [12月13日] ①入会員の承認、②各種授賞の承認、③企業研究者活動表彰、④中小企業への研究助成、⑤福島県立小高産業技術高等学校への理科実験備品について、⑥2018年度事業計画（第一次案）、⑦2018年度収支予算（第一次案）、⑧各種規程の変更、⑨著作権譲渡・著作者人格権不行使契約書の承認

7 [2月7日] ①理事会オブザーバー参加の承認、②入会員の承認、③倫理委員会からの答申書の承認、④授賞選考委員会委員の改選、⑤2018年度事業計画（最終案）、⑥各種規程・規則の変更、⑦事務局人事、⑧2018年度収支予算（最終案）、⑨農芸化学研究奨励会の事業報告及び修正決算、⑩委員会の英語表記

・授賞選考委員会（2回）

1 [11月3日] ①日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・日本農学賞本会推薦候補者の選考

2 [11月30日] ①農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞・藤原賞本会推薦候補者の選考

・学術活動強化委員会（1回）

1 [3月18日] ①委員長の互選、②合併に伴う奨励会の助成事業について、③Visionary農芸化学100について

・学術活動強化委員会総務会（1回）

1 [9月9日] ①フェロー候補者の選考、②学会サイト英語版へのVisionary農芸化学100シンポジウム掲載、③Visionary農芸化学100シンポジウムと和文誌との連携企画

・和文誌編集委員会（3回）

1 [3月18日] ①編集委員長の選出、②和文誌の編集について

2 [7月1日] ①推薦課題の可否、②クリアファイルの制作

3 [11月28日] ①推薦課題の可否, ②特集号の制作, ③農芸化学研究企画賞受賞者への執筆依頼, ④農芸化学@High School およびトップランナーに聞くの担当者交代, ⑤Visionary 農芸化学100 シンポジウムとの連携企画
・英文誌編集委員会 (1回)

1 [3月19日] ①審査期間の公開について, ②BBBの印刷スタイルの変更, ③理事の編集委員への登録について
・英文誌編集総務会 (1回)

1 [1月12日] ①2017年BBB論文賞の選考, ②2017年Most-Cited Paper Award および Most-Cited Review Award の選考, ③BBB Vol.83 の特集号について
・産学官学術交流委員会 (3回)

1 [3月19日] ①委員長の互選, ②企画賞重点研究領域について

2 [9月19日] ①第15回農芸化学研究企画賞の選考方法, ②第12回農芸化学研究企画賞報告書の和文誌推薦, ③名古屋大会委員会企画シンポジウムについて, ④2018年度産学官若手交流会 (さんわか) の予算

3 [12月5日] ①第15回農芸化学研究企画賞の選考, ②名古屋大会委員会企画シンポジウムについて, ③中小企業の研究助成, ④名古屋大会産学官学術交流フォーラムについて

・広報委員会 (3回)

1 [3月19日] ①学会サイト内の研究室検索サイトについて, ②今後の出前授業のあり方

2 [7月27日] ①農芸化学の普及活動補助の選考, ②学会HP英語版の充実化, ③学会サイト内の研究室検索サイトの現状と今後, ④出前授業の文言修正

3 [10月30日] ①研究室検索サイトについて, ②2018年度予算案, ③学会HP英語版の充実化

・財務委員会 (7回)

1 [3月20日] ①委員長の互選, ②合併後事業計画案の検討

2 [3月31日] ①創立100周年記念事業と合併後事業計画の統合案の検討

3 [5月11日] ①創立100周年記念事業組織委員会委員長の選出, ②合併後事業計画案の検討, ③合併後予算案 (2017年度, 2018年度予算) の検討, ④北海道支部特定資産 (ランチョンセミナー収益金) 使途計画案の検討, ⑤2018年度名古屋大会関連の検討, ⑩特別賞授与案の検討, ⑪事務局人事, 人員配置の検討

4 [7月13日] ①学生会員卒業後5年間を学生会費に据え置く優遇措置, ②中小企業への研究助成, ③授賞選考の電子化, ④ロールモデル集, ⑤各種規程・規則・募集要項変更案, ⑥英文誌レイアウト変更, ⑦2018年度名古屋大会関係 (化学と生物シンポジウム, 就職説明会), ⑧2019年度東京大会関係 (懇親会会場), ⑨被災地理科教育支援 (最終支援), ⑩学会センタービル2階電気増設工事, ⑪クレジットカード決済システムセキュリティ強化対策導入,

⑫税額控除対象法人の更新申請, ⑬支部名義の銀行口座, ⑭派遣社員の交代

5 [10月16日] ①若手一般会員を対象とした優遇措置に関する規程変更案及び公表文案, ②企業活動表彰 (仮設) の新設, ③倫理規程変更案, ④顧問弁護士の倫理委員への就任と報酬額の検討, ⑤中小企業への研究助成, ⑥名古屋大会参加費案, 予算第一次案, 懇親会の在り方, ⑦ジュニア農芸化学会への中学校の参加, ⑧一般講演の連続発表の在り方, ⑨和文誌特集号 (1月号) の制作及び各種費用, ⑩男女共同参画アンケートデータの解析, ⑪男女共同参画学協会連絡会の幹事学会の引き受け, ⑫男女共同参画担当理事の職務追加, ⑬事務局の授賞業務について, ⑭給与規程変更案, ⑮事務局人事, ⑯事務局小会議室補修対策

6 [12月4日] ①合併公告に関する顛末 (報告), ②若手一般会員を対象とした優遇措置 (報告), ③企業研究者活動表彰, ④中小企業への研究助成, ⑤学会賞及び功績賞と日本農学賞の重複応募, ⑥福島県立小高産業技術高校への理科実験備品, ⑦事務局改修工事に伴う什器備品購入費の支出元, ⑧合併後の学活における助成事業の選考, ⑨合併後の助成事業の成果報告書の制作, ⑩委員及び幹事規程変更案, ⑪女性賞関連規程変更案, ⑫会議費取扱運用細則変更案, ⑬給与規程変更案, ⑭事務局人事, ⑮2018年度予算第一次案, ⑯著作権譲渡・著作権人格権不行使契約書

7 [1月29日] ①学活企画シンポジウム, ②エーイー企画の学生向けウェブサイト, ③生物科学学会連合の合同大会, ④農芸化学研究奨励会の事業報告及び決算書, ⑤本部支部間の送金の取り止め (本部管理一本化の徹底), ⑥授賞選考委員の選出 (半数交代), ⑦授賞規程変更案, ⑧BBB論文賞表彰規程変更案, ⑨会議費取扱運用細則変更案, ⑩給与規程変更案, ⑪就業規則変更案, ⑫事務局人事, ⑬2018年度予算最終案

・JABEE対応委員会 (1回)

1 [3月18日] ①2017年度の活動方針

・男女共同参画委員会 (1回)

1 [3月20日] ①連絡会運営委員会について, ②連絡会シンポジウムについて, ③名古屋大会男女ランチョンシンポジウムの検討, ④女子中高生夏の学校への参加, ⑤連絡会第4回大規模アンケート農芸化学会会員分の解析と報告書の作成, ⑥ロールモデル集の作成

・農芸化学女性研究者賞等授賞選考委員会 (1回)

1 [11月24日] ①農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の選考

・創立100周年記念事業組織委員会 (1回)

1 [1月5日] ①創立100周年記念事業の全体構想の確認, ②各種活動計画の骨子の確認

・倫理委員会 (2回)

1 [1月5日] ①調査委員会委員長の互選, ②東京大学分子細胞生物学研究所・旧加藤研究室における論文不正に関する調査報告 (最終) の確認, ③処分対象者に関する事実関

係の調査結果, ④当該事案についての相応の処分案あるいは対応案

2 [2月7日] ①前回委員会議事録の確認, ②当該事案の相応の処分の必要性

・京都大会実行委員会 (2回)

1 [3月7日] ①京都大会最終打ち合わせ

2 [4月28日] ①名古屋大会実行委員会への引継ぎ

・名古屋大会実行委員会 (1回)

1 [5月9日] ①大会概要説明, ②会場, 日程調整, 講演時間について

【会員の状況】

2017年度 (2018年2月28日現在) の会員数は次のとおりである。

	2017年度	2016年度	増減
名誉会員	15	15	0
有功会員	206	199	7
シニア会員	344	363	-19
一般会員	6,841	6,989	-148
教育会員	82	66	16
学生会員	2,751	2,801	-50
国外会員	50	58	-8
団体会員	267	269	-2
賛助会員	97	98	-1
(口数)	(196)	(203)	(-7)
合計	10,653	10,858	-205

(2018年2月末現在)

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	国外	団体	賛助 (口数)	小計
前年2月末	15	199	363	6,989	66	2,801	58	269	98 (203)	10,858
北海道支部	0	10	9	254	2	140	0	6	3 (3)	424
東北支部	0	11	12	371	10	180	0	21	2 (2)	607
関東支部	8	96	162	2,867	27	976	0	126	60 (145)	4,322
中部支部	2	14	36	873	10	466	0	36	8 (17)	1,445
関西支部	4	43	75	1,306	14	617	0	40	16 (28)	2,115
中四国支部	0	16	23	657	9	235	0	26	5 (5)	971
西日本支部	0	16	27	500	10	136	0	12	3 (3)	704
国外	1	0	0	13	0	1	50	0	0	65
合計	15	206	344	6,841	82	2,751	50	267	97 (196)	10,653
増減	0	7	-19	-148	16	-50	-8	-2	-1 (-7)	-205
入会	0	0	0	265	17	1,030	10	4	0	1,326
復会	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
会員種別変更	0	14	9	679	0	-703	1	—	—	—
休会	0	0	0	-5	0	-1	0	0	0	-6
退会	—	—	-13	-307	-1	-237	0	-6	-1 (-5)	-565
会費未納による 遡り退会	—	—	-7	-324	0	-127	-4	0	0	-462
会費滞納による 会員資格停止	—	—	-1	-452	0	-12	-15	0	0	-480
逝去	0	-7	-7	-5	0	0	0	—	—	-19
口数変更	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (-2)	—
合計	0	7	-19	-148	16	-50	-8	-2	-1 (-7)	-205

新規入会者の入会年度内訳

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	国外	団体	賛助	小計
2017年度入会	0	0	0	82	14	101	3	1	0	201
2018年度入会	0	0	0	183	3	929	7	3	0	1,125
合計	0	0	0	265	17	1,030	10	4	0	1,326